

和合亮一講演会



「詩で振り返る 3・11」

—東日本大震災から15年へ—

あなたにとって故郷とは、どのようなものですか。
私は故郷を捨てません。故郷は私の全てです。

2011年3月16日4:44 「詩の礫」より

Date & Place

令和8年1月31日 sat
13:30~15:00

金島ふれあいセンター

★サイン会の整理券配布 12:30~
和合さんの著書持参の方 先着30名



和合 亮一(わごう りょういち)氏

1968年生まれ 福島市在住。詩人。国語教師。

中原中也賞、萩原朔太郎賞など受賞多数。2011年、東日本大震災直後の福島からTwitter(現 X)で連作詩「詩の礫(つぶて)」を発表し続け、国内外から注目を集めました。2017年7月、詩集『詩の礫』がフランスにて翻訳・出版され、第1回ニュンク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初の快挙であり、大きな話題になりました。

震災について直接語るのは、群馬県内では初めてとのことです

お問合せ

金島公民館
金島ふれあいセンター

〒377-0027 群馬県渋川市金井1999番地

0279-22-0241

定員300名 申込不要
入場無料